

大阪・上町台地を散策しよう

大阪・ 上町台地の 特徴

大阪の中心部に位置する上町台地は、古代から政治・経済の拠点として機能し、難波宮をはじめとした日本の都としての歴史がある場所です。南北約11km、東西約2-3kmと南北に細長く、標高は北端付近の大阪城(本丸)で約32mあり、北から南にかけて低くなっています。

今回のキッズカレッジでは、大槻能楽堂で周辺の地理や歴史について学んだ後、散策へ出発し、エリア1、2の順に巡る予定です。エリア2を散策した後、現地解散となります(大槻能楽堂に戻ることも可能です)。解散場所であるエリア2付近には、JR玉造駅、大阪メトロ玉造駅がすぐ近くに 있습니다。



エリア1

エリア1では、越中井(えっちゅうい)・カトリック玉造教会を訪れます。越中井は、細川越中守忠興(ただおき)の邸跡で、忠興夫人である細川ガラシャがその生涯を閉じた場所でもあります。カトリック玉造教会には、ガラシャ夫人像とキリシタン大名であった高山右近像があります。

エリア2

エリア2では、真田丸跡・真田山三光神社を訪れます。NHK大河ドラマにもなった真田丸は、真田幸村が大阪城の外側に築いた出城ですが、豊臣家と徳川家の決戦である大坂冬の陣で大きな役割を果たし、真田幸村の武名が天下に知られることになりました。

上町台地は起伏に富んだ地形をしています。今回のキッズカレッジでは、実際に歩いて散策することでユニークな地形を体験し、あわせて周辺の歴史についても学んでいただきます。

同志社女子大学の天野太郎先生が、見どころやポイントを分かりやすく解説し、歴史情緒あふれる町をご案内します。皆さんが住み慣れている町に秘められた伝説や時代背景を知り、大阪の魅力を再発見してください。

※多少の天候不順の場合でも、イベントは実施しますが、ルートを変更する場合があります。